

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

～株式会社マクアケとの連携によるクラウドファンディングの活用支援事例～

宇治市観光協会による「放ち鶉飼」プロジェクトの組成を支援！

京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、宇治市の観光産業振興の取り組みとして、株式会社マクアケと連携し、公益社団法人宇治市観光協会によるクラウドファンディングプロジェクトの組成を支援しましたのでお知らせいたします。

当プロジェクトは、「宇治川の鶉飼」において、現在では途絶えてしまった綱を付けない「放ち鶉飼」を復活させるための資金を募集するものです。クラウドファンディングで集められた資金は、鶉の飼育費や「放ち鶉飼」の準備費用などに充てられます。

※「クラウドファンディング」…インターネットを通じて不特定多数の個人から少額ずつ資金を募ること。

当行では、平成28年9月に宇治市と「地方創生に関する包括連携協定」を締結し、セミナーの共催など連携・協力して地方創生の取り組みを進めております。今後も、行政はじめ観光関連団体等と連携して地域の観光産業や成長産業を支援し、地域の発展と成長に貢献できるよう努めてまいります。

記

プロジェクトの概要

プロジェクト名	日本初！人工ふ化で誕生したウミウによる「放ち鶉飼」プロジェクト
事業者	公益社団法人 宇治市観光協会
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none">・宇治市観光協会が主催する「宇治川の鶉飼」において、現在では途絶えてしまった「追い綱（鶉匠と鶉を繋ぐ約4mの綱）を使わない『放ち鶉飼』」を復活させることを目的としている。・宇治川の鶉飼では、平成26年に国内で初めてウミウの人工ふ化に成功して以降、現在まで合計9羽が誕生しているが、これらの鶉達は“ウッティー”と名付けられ、夏シーズンの鶉飼で活躍している。・人工ふ化した鶉は、人を怖がらず、人に慣れやすい傾向があり、“ウッティー”達による「放ち鶉飼」実施に向け、現在トレーニングを行っている。・今回のプロジェクトで調達した資金は、餌代などの飼育費や「放ち鶉飼」を実施する場所の整備費などに充てられる。
目標金額	1,500,000円
募集期間	平成30年4月19日（木）～平成30年6月29日（金）

-1-

支援者への返礼品	<ul style="list-style-type: none"> ●支援金額 3,000円コース お礼状+宇治市観光協会ホームページにお名前を掲載 ●支援金額 5,000円～20,000円コース 上記に加え、金額に応じて、宇治のプレミアム茶「碾玉」や地元炭山の窯元「京焼・清水焼」の陶器、鵜飼乗船チケットなどを提供
申込方法	Makuake (マクアケ) WEBサイトよりお申し込み (https://www.makuake.com/project/uji-ukai/)

<ご参考>

1. 「宇治川の鵜飼」について

京都・宇治では、毎年7月から9月にかけて「宇治川の鵜飼」が行われている。

宇治川の鵜飼は平安時代にすでに行われていたとされる歴史と伝統ある漁法。追い綱を付けた鵜を川に放ち、かがり火の灯りに誘われて集まってきた魚を鵜が捕獲するもので、現在では、宇治の夏の風物詩として、観光客や市民に親しまれている。



2. 「放ち鵜飼」について

放ち鵜飼は、その名の通り、綱を付けない鵜を川に放ち、魚を捕獲した鵜を呼び寄せる伝統的な鵜飼のひとつ。綱を付ける通常の鵜飼よりもさらに鵜と鵜匠の信頼関係が大切になる。

国内では、平成13年まで島根県益田市の高津川の鵜飼で実施されていたが、鵜匠の方が亡くなってからは途絶えていた。

3. 「Makuake」について

「Makuake」は、株式会社マクアケが運営する日本最大級のクラウドファンディングサイト。株式会社マクアケは、株式会社サイバーエージェント（東証一部上場）のグループ会社。

4. 「株式会社マクアケ」の概要

所在地	東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト13F
代表者	代表取締役社長 中山 亮太郎
設立	平成25年5月
事業内容	クラウドファンディングプラットフォームの運営 各種研究開発技術を生かした製品プロデュース支援事業

以上